

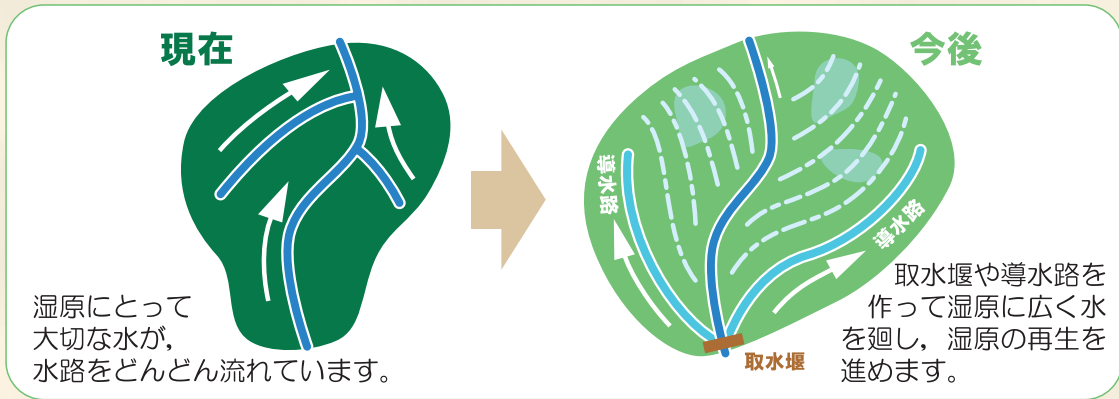
再生の手順

霧ヶ谷湿原の湿原化に必要な条件とは…
ポイント とにかく水を廻すこと

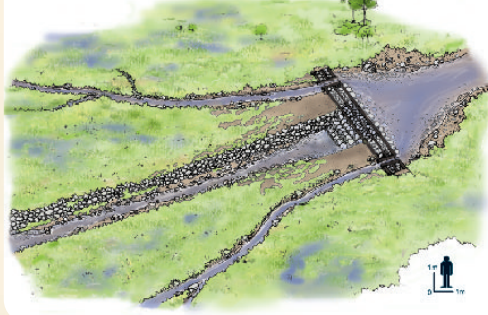
何をするの？

霧ヶ谷湿原ではこれまでに植物や動物などについて様々な調査が行われました。その結果、乾燥したやぶの中でも、くぼみがあって水がたまるような場所には「湿原のかげら」が残っていることがわかり、水さえ十分にあれば、湿原に戻る可能性が高いと考えられます。

まずは霧ヶ谷湿原の中央を流れるコンクリート三面張り水路の上流部に取水堰や導水路を作って湿原に広く水を廻し、その変化を見守っていきます。それと同時に、この事業によって災害が起こらないように、土砂の流出や水の流量についてモニタリングを行っていきます。これらの結果をみて、災害の防止と湿原の再生の両立を図りながら、さらに下流部の再生について進めていきます。

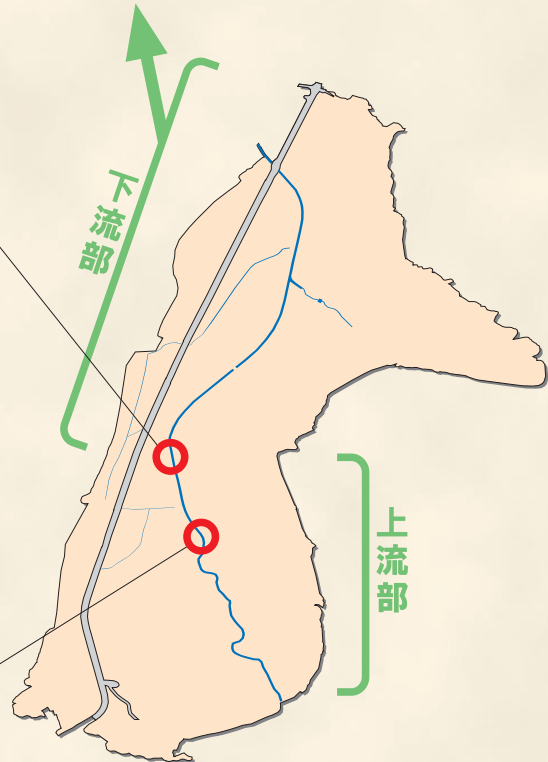
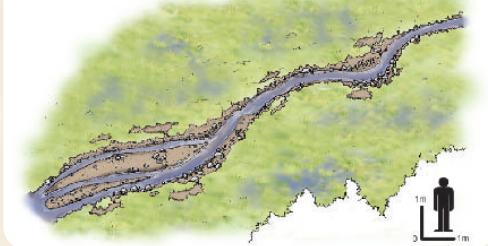


取水堰・導水路のイメージ



木製の取水堰から導水路に水を流し、湿原全体に水を廻します。この水路はサンショウウオなどのすみかにもなります。

流路のイメージ



霧ヶ谷湿原 水路縦断模式図

